



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 七井 真人

■栃木県産業労働観光部長との意見交換会開催

11月12日 栃木県産業労働観光部長と芳工連との意見交換会を開催しました。この事業は栃木県工業団地管理連絡協議会の事業計画に基づき、栃木県内工業団地と連携し、工業団地を取り巻く実情を県にご理解いただき、産業振興施策の充実を要望するなど、芳賀工業団地の安全・安心の向上を目的として開催しました。

栃木県から部長の荒川政利様、企業立地班長橋本陽夫様、係長眞田礼子様、そして栃木県工業団地管理連絡協議会事務局長の金田忠士様の御参加をいただきました。

前半は、(株)オートテックジャパン様の御協力をいただきまして、今年の4月から操業した開発センターを見学させていただきました。

開発センターは変速機開発に関する機密性の高い試験を行う試験棟ですが、会社側から青木朗雄代表取締役社長、苅部眞一常務取締役、大木健司開発センター課長、伊藤敏夫開発センター電気主任技術者による丁寧なご説明をいただきました。

後半の意見交換会は、工業団地管理センター大会議室において、会員企業18社20名の参加をいただき開催しました。

工業団地立地企業を代表して、東洋濾紙株式会社芳賀工場総務課 正木尚課長、株式会社ショーワ栃木開発センター開発本部開発管理部安全ブロック 田島博久マネージャーから、それぞれの会社概要等についてご説明をいただきました。

次に、荒川政利部長から栃木県が進める施策の紹介があり、県経済を牽引する工業団地を中心に企業・事業所の強化、地域・集積の向上、人材の育成・確保の観点から各種施策を展開している。企業の規模やニーズ等に応じた総合的な支援体制や企業立地ポテンシャルの向上等、とちぎの産業を取り巻く環境整備等に努めている、との説明がありました。

その後の意見交換会で出された質問・要望事項に対



する回答の要旨は次のとおりです。

質問・要望項目	県からの回答
<p>主要地方道 宇都宮・茂木線の歩道の街路樹は下枝が繁茂し歩行者や自転車利用者の通行を阻害するばかりか、交差点から本線に出るドライバーの視界を遮断し、交通安全上の支障があった。</p> <p>街路樹の枝払いや中央分離帯の雑草処理等は、景観や通行に支障のない時期までに作業を実施するなど、保全管理作業を適正時期にお願いしたい。</p>	<p>県は国道4号線、50号線以外の国道と県道を管理しているが、延長は年を追って増加しているため維持管理費が増大している。</p> <p>交通安全上に支障のある道路を優先実施することで効果的・効率的に対応することとしたい。</p> <p>特に視界を遮断する支障物件はなるべく早く対応できるようにする。</p>
<p>近年、短時間強雨の発生回数は、年ごとに増加傾向にあり、「集中豪雨」や「局地的大雨」の災害が深刻化している。</p> <p>宇都宮市東部の道路及び住宅の冠水対策について、どのような対応を検討されているか伺いたい。</p> <p>また、対策に要する期間が長引く場合、通行者及び地域の安全・安心の確保に努めていただき、浸水や冠水等に関する警報及び迂回路の案内情報発信に努めてほしい。</p>	<p>時間雨量50mmを超えるゲリラ的豪雨が増加し、昨年度も100mm超の降雨が鹿沼や矢板で発生した。越戸川の改修と路面排水対策の必要から県宇都宮土木事務所及び宇都宮市による冠水対策連携会議で対応を検討中である。</p> <p>抜本的な解決は難しいが、冠水情報を提供するための監視カメラを設置する予定。</p> <p>今後は的確な情報を発信するとともに道路誘導を適切に行うことで、安全・安心の確保に努める。</p>
<p>2020年の東京オリンピック開催に向けて栃木県はどのような対応を考えているのか。</p>	<p>栃木県で開催する国体への対応とともに、ワールドカップのキャンプ地誘致活動にも取り組んでいる。観光客増加が見込まれるので外国人の免税品取扱店を10月から増やす取り組みを推進している。英語表記の増加で日光と那須地方などへの誘客に努める。また、外国人向けに安価な鉄道料金の商品を設定することにしたい。</p>
<p>道路整備の促進について特に緊急性が高い2件を要望する。</p> <p>(1) 県道宇都宮・茂木線の大塚地内道路改良工事が立ち止まっている。柳田街道の渋滞解消や交通事故防止の上で早期完成を目指してほしい。</p> <p>(2) 高根沢・さくら市方面から南下して県道宇都宮・向田線と交差する廻り谷交差点は、宇都宮方面に向かう路線で混雑が倍増する。現在T字路であるが、直線に南下するバイパスを早期に完成させてほしい。</p>	<p>県は、芳賀工業団地及び清原工業団地の従業員が安全・安心して通勤できなければ、撤退する企業もあるとの危機感をもっている。</p> <p>伺った内容については県土整備部に伝え、ご要望にできるだけ添えるよう努力してまいります。</p>

■総務企画部会

1) 第2回総務企画部会開催

11月25日 管理センター小会議室において第2回総務企画部会を開催しました。会議では次の案件を協議し内容を決定しました。

- ① 芳工連賀詞交歓会を平成27年1月14日（水）午後5時からホテル東日本宇都宮において開催する際の総務企画部会の役割等を決定
- ② 第32回ボウリング大会を2月25日（水）午後7時30分から宇都宮ゴールドレーンで個人戦により開催
- ③ 次年度開催予定の初級管理者研修及び若手研修会の実施要領については、参加企業への意向調査を実施したうえで、その結果に基づき決定することを確認
- ④ その他、各部会・役員会の予定を事務局より説明

2) 第49回ゴルフコンペ開催

11月22日（土）芳賀町ロイヤルメドウゴルフスタジアムにて、芳工連会員15名の参加により大会を開催しました。芝の緑と木々の紅葉が映える晩秋のゴルフ場で、4チームは親睦を図りながらの熱戦を繰り広げました。

優勝は、いつも安定した成績をキープしている芳賀町副町長の坪川幹雄様（NET 73.6）、準優勝は榎丸順 棚瀬尚様（NET 75.4）でした。



■環境整備部会

第2回環境整備部会開催

11月14日 第2回環境整備部会の開催日に合わせ、ひばりが丘公園の花壇2カ所にパンジーの苗を部会員が植込みました。

パンジーの黄色、紫色、橙色の可憐な花は、花が少ないこれからの時期、公園や管理センターを訪れる方々の目を楽しませてくれそうです。

正木部会長、阿部副部会長及び事務局長は、工業団内の環境パトロールを実施しました。

歩道にケヤキが植栽された路線で落葉が多くなる季節となりましたが、道路管理者が段取りよく落葉溜いを清掃業者に委託し、適正に管理してされていることから、景観の保持と交通安全が確保されていました。

会議では、今後の事業内容等について協議をしました。また、各部会・役員会の予定を事務局よりご説明し、参加についてご協力をお願いしました。



■芳賀町商工会との交流会開催

11月20日 管理センターにおいて芳賀町商工会と芳工連との交流会を開催しました。

これは、商工会会員と芳工連会員企業とが一堂に会し、芳賀町の産業振興並びに地域発展に資することを目的として、研修及び懇談等による交流を深める事業です。

今年度は、獨協医科大学病院 和氣晃司准教授による栃木県ドクターヘリ事業の講演及び懇親会の2部構成で実施しました。

来賓として芳賀町長(代理副町長坪川幹雄様)、芳賀町議会議長小林隆志様、町議会産業建設常任委員長直井一之様、町商工観光課長赤羽光二様に御出席をいただきました。

「栃木県ドクターヘリ 2014 運航事業と現状」と題する和氣晃司様の講演内容な次のようなものでした。

ドクターヘリ事業の特徴は、ヘリを使い医療者が現場で治療する往診診療が可能、根本治療に必要な搬送が空路で早いことから機能回復・改善が期待できる、小型化したヘリで狭い場所を利用して離着陸可能、などである。

ドクターヘリ事業は各道府県が事業主体となっていて、栃木県ではホンダ航空が県から委託を受け、獨協医科大学に駐機している。獨協医科大学病院は栃木県から指定を受け医療行為を担っている。運航会社のCS(コミュニケーションスペシャリスト)が病院内に入り、消防、運航会社、ドクターとの連携を担っている。病院には常時フライトドクター、フライトナースが待機して医療資機材、医薬品の積込みをして非常時に備える。

県内200万人弱の人口に対して、高度医療に対応する救命救急センターと言われる三次医療機関は5カ所あり、他府県と比較しても栃木県は恵まれている。群馬県と茨城県とは相互支援協定により連携体制が確立している。

重篤な患者の手当は30分以内に医療機関への搬送が必要となるが、山間部、観光地は陸路搬送が限界となるが、ヘリの巡航速度は200kmなので15分で50kmをカバーでき、20分あれば県内をすべてカバーできる。

航空法の規定で、消防からの要請によりドクターヘリを運航することになる。運行時間は午前8時30分から日没30分前までとなる。



ドクターヘリ事業の詳細を初めて知った参加者が殆どで、「興味深く聴くことができ大変参考になった」、との感想を参加者の多くが話していました。

第2部の懇親会では、これまで面識のなかったそれぞれの会員同士の名刺交換にはじまり、多様な情報交換の場となり、和やかに懇親することができ、有意義な交流会となりました。

■芳賀郡市公衆衛生大会開催

11月20日 第48回芳賀郡市公衆衛生大会が真岡市二宮コミュニティセンターにおいて開催されました。

この協議会は、芳賀郡市1市4町の医師会、歯科医師会、食品衛生協会、生活衛生同業組合、獣医師会、薬剤師会、放射線技師会、酒造組合、芳賀中部上水道企業団、芳賀郡中部環境衛生事務組合、各市町及び工業団地連絡協議会等の公衆衛生に係る団体・機関等によって構成され、公衆衛生関係者の意識の高揚や公衆衛生に対する関心を高める各種事業を行っています。

芳工連 富永英夫副会長が、「1. 健康づくり実践の推進、2. 高齢者も生活しやすい地域づくりの推進、3. 人にやさしい環境づくりの推進」を重点事項とし、公衆衛生の向上に努力する旨の大会宣言(案)を朗読し、満場一致で承認されました。



■真岡地区産業安全衛生大会開催

11月27日 真岡地区産業安全衛生大会が真岡市内で開催されました。真岡労働基準監督署管内では、関係者のご尽力で長期的には労働災害件数が減少傾向にありますが、本年に入り3名の死亡が発生していることから、「リスクアセスメントへの積極的取組、安全衛生教育の充実、危険予知活動の現場における確実な実施、心身両面の健康づくりの推進等により、すべての職場における安全衛生水準の向上を目指すことが必要である」との大会宣言(案)が提示され、満場一致で承認されました。

表彰式で、株式会社ホンダテクノフォート様、株式会社ショーワ栃木開発センターが優良事業場として表彰されました。

また、安全衛生功労者としてジェーピーエス製薬株式会社栃木工場の鎌上章様が、優良従業員表彰者として、日本梱包運輸倉庫株式会社栃木営業所の鶴川信一様、直井正幸様、株式会社本田技術研究所四輪R&Dセンターの木幡高志様、横山貞洋様が栄えある表彰を受けられました。

皆さま誠におめでとうございます。



■ホンダエンジニアリング男子ソフトボール部が優勝

第43回日本男子ソフトボールリーグ決勝トーナメントが11月15・16日の両日、愛知県豊田市運動公園において開催されました。この決勝トーナメントには、今シーズンの東西リーグ上位4チーム（計8チーム）が出場し、真の日本リーグチャンピオンの座をかけた頂上決戦が繰り広げられました。全東日本リーグでは最多の優勝回数（6回）を誇っていたホンダエンジニアリングだが、優勝はなかったとのこと。

何と、この大会でホンダエンジニアリング男子ソフトボール部は念願であった初の「頂点」に立ったのです。

会社から提供いただいた試合記録を捲ってみますと、初日の1回戦は、旭化成（西3位）と対戦したが強打の旭化成打線を4安打に抑え、8-3で快勝し準決勝へ。

準決勝はトヨタ自動車（東4位）と決勝進出をかけて激突、8本のホームランを含め15安打・15得点をものにして、15-6の大差で決勝へ。

決勝戦は愛媛ウエストが相手で、打っては特大スリーランやソロホームラン、投げては濱口監督が余裕のピッチングで、6イニングを無失点に抑え後輩へ継投し8-2で初優勝、と記録されています。

チーム全員が、いかに力を発揮した見事な試合でした。ホンダエンジニアリング全社員、そしてメンバーとご家族の皆さまの喜びを共に感じる思いです。次期シーズンも歓喜の声が工業団地に轟くよう祈念します。



■年末の交通安全運動

12月11日（木）から12月31日（水）までの21日間、年末の交通安全県民総ぐるみ運動が実施されます。

運動の重点

- 1 スピードダウン運動の推進
- 2 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 3 飲酒運転の根絶

交通ルールの順守と正しい交通マナーの実践を習慣づけて、交通事故防止の徹底を図りましょう。

芳工連日誌

【11月の実績】

- 9日 芳賀町民祭
- 11日 管理センター管理組合役員会
- 12日 産業労働観光部長との意見交換会
- 14日 第2回環境整備部会
- 20日 芳賀町商工会との交流会
- 20日 芳賀郡市公衆衛生大会
- 21日 安全・安心な道づくりを求める県民大会
- 22日 第49回芳工連ゴルフコンペ
- 25日 第2回総務企画部会
- 26日 芳賀町総合情報館運営委員会
- 27日 真岡地区産業安全衛生大会
- 27・28日 団管連視察研修

【12月の予定】

- 11日 交通安全横断幕設置
- 11日 安全衛生活動事例発表会
- 12日 第3回役員会
- 17日 交通安全街頭指導
- 24日 資源ごみ回収日